

地域にもっと

のめーい

2023 Disclosure

上半期の事業報告

(2023年4月1日～2023年9月30日)

地域の成長
輝く未来



青梅信用金庫

2023年度 上半期の業績をご報告します

国際的な原材料価格の上昇など経済環境は依然として厳しい状況にある中で、あおしんはお客さまの課題解決を最優先に活動してまいりました。

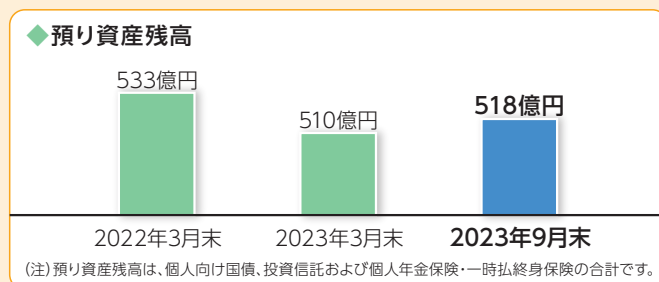
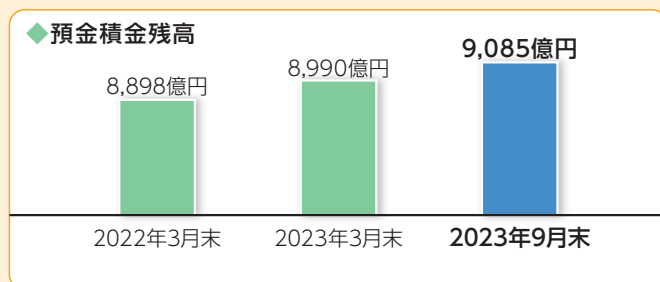
2023年度は、2021年度からスタートした中期経営計画の最終年度です。「経営支援によるお客さまの価値向上」という基本方針のもと、何でも相談できる“のめっこ信用金庫”として地域の発展のために積極的に取り組んでまいります。

経営目標		
指標	2023年度年間目標	2023年度半年間の実績 (4月～9月)
自己資本比率	10%以上	11.83%
不良債権比率	3%台	3.66%
当期純利益	24億円	20億円



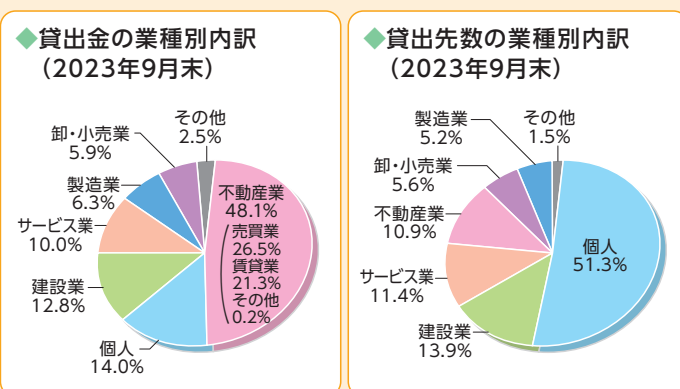
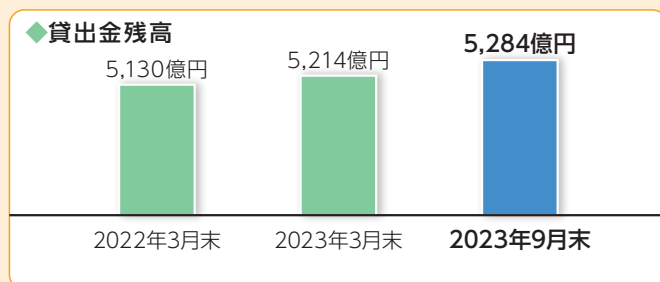
預金積金と預り資産の状況

2023年9月末の預金積金残高は、ご好評いただいた「あおしん懸賞付定期キャンペーン」などにより、2023年3月末比95億円増加の9,085億円となりました。また、預り資産残高は、多くのお客さまに終身保険などをご契約いただいた結果、2023年3月末比8億円増加の518億円となりました。



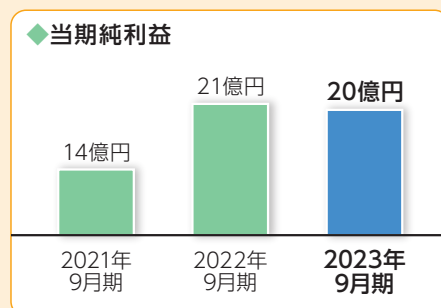
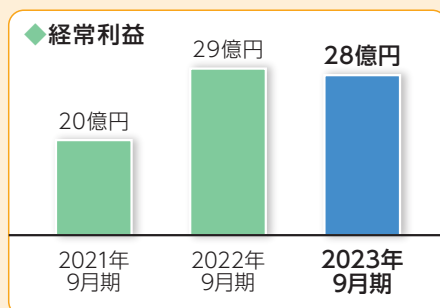
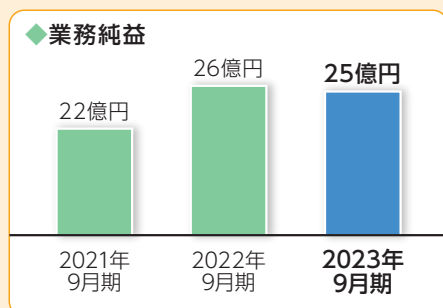
貸出金の状況

2023年9月末の貸出金残高は、事業を営むお客さまや個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、2023年3月末比70億円増加の5,284億円となりました。



損益の状況

本業の収益を示す業務純益は、貸出金利息が増加したものの物価高騰に伴う経費の増加により、2022年9月末比1億円減益の25億円となり、経常利益は28億円、当期純利益は20億円となりました。



自己資本比率の状況

自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性を示す重要な経営指標の一つです。信用金庫などの国内で業務をおこなう金融機関は4%以上の自己資本比率が求められている中、十分な水準を維持しています。

◆自己資本の構成および定量的な開示事項

(単位:百万円)

	2023年3月末	2023年9月末
自己資本の額(A)	53,143	55,176
コア資本に係る基礎項目の額	53,236	55,252
コア資本に係る調整項目の額	92	76
リスク・アセット等の額の合計額(B)	456,706	466,350
自己資本比率(A)÷(B)	11.63%	11.83%
単体総所要自己資本額	18,268	18,654
信用リスクに対する所要自己資本の額	17,349	17,735
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	918	918

有価証券の状況

お客さまからお預りしている預金積金は、貸出金のほか、有価証券でも安全性を重視した運用をしています。

2023年9月末の有価証券残高は、日本銀行の金融政策の運用柔軟化により国内金利が上昇傾向となったため、運用利回りの向上を考え債券を購入した結果、2023年3月末比74億円増加し、1,166億円となりました。

◆その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

種 類	2023年3月末			2023年9月末		
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
株式	1,993	1,235	758	2,454	1,235	1,219
債券	80,412	81,972	△1,560	86,605	89,915	△3,310
国債	20,991	21,256	△265	25,747	27,056	△1,309
地方債	5,343	5,298	44	5,324	5,299	25
社債	54,077	55,416	△1,339	55,534	57,559	△2,025
その他	26,793	23,850	2,942	27,573	23,374	4,199
合計	109,199	107,058	2,141	116,634	114,525	2,108

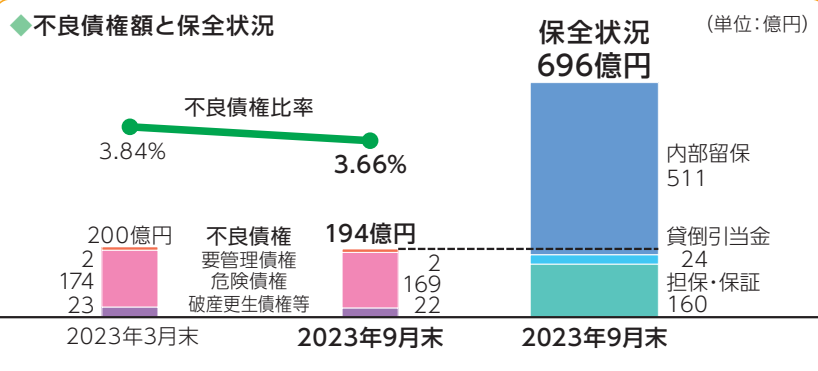
(注)その他有価証券で市場価格のない株式等が、2023年3月末58百万円、2023年9月末57百万円あります。

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

2023年9月末の不良債権額は、194億円となりました。この不良債権額を確実に回収する担保・保証額と貸倒引当金の合計額は184億円、保全率は94.83%となりました。さらに、別途特別積立金等の内部留保511億円により盤石な態勢をとっており、より一層の資産の健全化に努めています。

◆不良債権額と保全状況

(単位:億円)



◆信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円・%)

区 分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による 回収見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)÷(a)	引当率 (d)÷(a-c)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2023年3月末	2,366	2,366	2,113	252	100.00	100.00
	2023年9月末	2,200	2,200	1,926	273	100.00	100.00
危険債権	2023年3月末	17,473	16,590	14,180	2,410	94.94	73.19
	2023年9月末	16,994	16,058	13,913	2,145	94.49	69.62
要管理債権	2023年3月末	252	183	165	17	72.53	20.58
	2023年9月末	250	182	165	16	72.67	19.58
三月以上延滞債権	2023年3月末	—	—	—	—	—	—
	2023年9月末	—	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	2023年3月末	252	183	165	17	72.53	20.58
	2023年9月末	250	182	165	16	72.67	19.58
小 計(A)	2023年3月末	20,092	19,140	16,459	2,680	95.26	73.79
	2023年9月末	19,446	18,441	16,005	2,436	94.83	70.80
正常債権(B)	2023年3月末	502,354					
	2023年9月末	510,583					
総与信残高 (A)+(B)	2023年3月末	522,446					
	2023年9月末	530,029					

(注) 1. 対象債権は貸出金、債務保証見返、未収利息等の資産です。

2. 不動産の担保評価は路線価の70%で評価しています。また、保証は信用保証協会等の優良保証などです。

掲載している比率・金額は、単体ベースです。単位未満を切り捨てて表示しているため、合計・差額等と一致しない場合があります。

あおしん“TASUKI”寄附金の贈呈を開始しました

2022年3月6日に創立100周年を迎えたあおしんは、101年目の新たなスタートの年に「あおしん“TASUKI”寄附金」を創設しました。駅伝で使用される襷をローマ字で表し「寄附金を子ども達に繋げる」「未来に想いを繋げる」といった想いを込めています。

2023年度は、営業店所在地の23市区町に総額500万円を寄附しました。



青梅市



杉並区



武蔵村山市

美しい多摩川フォーラムを応援しています

あおしんは、地域の活性化と自立を目指し、2007年7月、官民により設立された「美しい多摩川フォーラム」(事務局は当金庫)の地域づくり運動を応援しています。この運動の柱となっている「経済・環境・教育文化」の3つの観点からボランティア活動に積極的に参加し、持続可能な地域社会の実現に努めています。

〈主な活動〉



5つの酒蔵めぐり



多摩川一斉水質調査



炭焼き体験と水辺の交流会



多摩川ドローン空撮映像・秋バージョンを公開しました。
動画はこちらからご覧になれます。



● 青梅信用金庫の概要 (2023年9月30日現在)

創 立：1922年(大正11年)3月6日

本店所在地：〒198-8722

東京都青梅市勝沼三丁目65番地

☎0428-24-1111(代表)

<https://www.aosyn.co.jp/>



預金積金：9,085億円

貸 出 金：5,284億円

有価証券：1,166億円

出 資 金： 22億円

出資口数：4,459,130口

会 員 数：45,590人

店 舗 数：36店舗

店舗外ATM：5店舗

役 職 員 数：680人